

特別活動(中学校)

特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連はどうなっているか。

特別活動は、学級活動、生徒会活動及び学校行事の各内容から構成されている。これらの内容は、それぞれ独自の目標と内容をもつ教育活動であるが、最終的には特別活動の目標を目指して行われるものである。したがって、次に示したように、特別活動の目標と各活動・学校行事の目標には密接な関係があることについて理解するとともに、十分考慮し、関連を図って計画し、指導することが大切である。

特別活動の目標と各活動・学校行事の目標

【特別活動の目標】

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

学級活動	<u>学級活動を通して</u> 、 <u>望ましい人間関係を形成し</u> 、 <u>集団の一員として</u> 学級や学校におけるよりよい生活づくりに <u>参画し</u> 、諸問題を解決しようとする <u>自主的、実践的な態度</u> や健全な生活態度を育てる。
生徒会活動	<u>生徒会活動を通して</u> 、 <u>望ましい人間関係を形成し</u> 、 <u>集団や社会の一員として</u> よりよい学校生活づくりに <u>参画し</u> 、協力して諸問題を解決しようとする <u>自主的、実践的な態度</u> を育てる。
学校行事	<u>学校行事を通して</u> 、 <u>好ましい人間関係を形成し</u> 、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする <u>自主的、実践的な態度</u> を育てる。

● 特別活動の中心的な目標として示している「自主的、実践的な態度」の育成については、各内容の目標の全てに示した。

● 目標に新たに加えた「人間関係」については、各内容の目標に「望ましい人間関係を形成し」を共通に入れた。

● 全体目標の「集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」を受けて、特に社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視する観点から、学級活動及び生徒会活動においては「生活づくりに参画」することを、学校行事においては「公共の精神を養い」を入れた。

こうした目標の改善は、小学校の特別活動とも軌を一にするものである。

平成18年12月に改正された学校教育法において義務教育の目標も明確に示された。また、平成19年6月に改正された学校教育法において義務教育の目標も明確に示された。特別活動においても、そのことを十分に踏まえ、小学校と中学校の指導の接続を図るとともに、中学生の心身の発達の段階や直面する課題に即した教育活動の充実が必要である。